

新社会人激励のつどい

松本市内の企業に新規就職した若者を歓迎、激励するため、松本市・松本商工会議所・（一社）松本青年会議所・松本公共職業安定所・松本地区雇用福祉協議会の主催により、毎年4月上旬に激励会を開催しています。

開催状況

区 分	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
開 催 日	4月9日	—	4月9日	4月8日	4月5日
事業所数（所）	29	—	21	25	26
参加人数（人）	219	—	104	100	102

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、中止

雇用促進機関等の育成及び事業支援

ア 松本地区雇用福祉協議会の育成

中小企業の雇用対策のため労働関係機関や学校等との情報共有を図り、また労働者の福祉向上対策、産業事情視察などを行い、労働諸問題に対処している当協議会を助成します。

イ 雇用啓発事業

求職者の雇用促進を図るため、商工会議所の事業を支援・助成します。

ウ 職業訓練校の育成

若年技能後継者育成を目的として、県の認定した職業訓練校の育成と振興を図るため助成します。

就職氷河期世代支援事業

雇用環境が厳しい時期に就職活動をしたため、不安定な仕事に就いたり、無業の状態にあるなど、様々な課題に直面している方々がいます。

就職氷河期世代の活躍の場を広げられるように、就労に係る相談事業を実施します。

令和5年度の実施状況

就職氷河期世代相談支援事業

既存の相談事業を拡充し、労働に関する専門知識と資格を有する社会保険労務士による相談窓口を設け、個々の悩みや不安を解消しながらニーズに合った適切な支援へとつなげ、職業的自立を後押しする（地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用）。

ア 相談期間

令和5年5月～令和6年3月 全42日間（4時間／日）

イ 相談員数

社会保険労務士4名

ウ 相談時間

50分／人

エ 相談件数

17件

女性活躍推進事業

雇用における人員・人材不足が懸念される中、結婚や育児により離職した女性の再就職など、貴重な労働力の確保に期待が寄せられています。

社会的ニーズが高まるデジタル人材の育成により、女性の就労や活躍の場を支援します。

令和5年度の実施状況

女性デジタル人材育成研修事業

一般財団法人松本ものづくり産業支援センターのICT拠点施設「サザンガク」と連携し、企業のデジタル化を支援する上で有効となる基礎的なITスキルとしてExcelの認定資格MOS（マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト）を取得できるよう研修を実施（地域女性活躍推進交付金を活用）

ア 前期

（ア）開催期間

令和5年7月～令和5年10月 全12回（90分／回）

（イ）開催場所

（一財）松本ものづくり産業支援センター「サザンガク」

（ウ）研修内容

一般コース（MOSアソシエイト資格取得） 2コース

（エ）参加者数

火曜コース 5名

木曜コース 6名

イ 後期

（ア）開催期間

令和5年12月～令和6年3月 全12回（90分／回）

（イ）開催場所

（一財）松本ものづくり産業支援センター「サザンガク」

（ウ）研修内容

一般コース（MOSアソシエイト資格取得） 1コース

上級コース（MOSエキスパート資格取得） 1コース

（エ）参加者数

一般コース 6名

上級コース 7名

(5) 人材育成事業

松本市ものづくり人材育成連絡会

技能五輪全国大会の開催を契機に、次代に繋がる人材育成施策として、学校、経済団体や行政などで構成する連絡会組織。

平成25年7月24日に設立し、構成団体で連携をとりながら地域産業を担う若年者の育成や地元への就職、産業に必要な人材の確保など、総合的に人材育成を支援します。

ア 進路情報誌「中学生が体験！松本の『ものづくり』」の製作

若年者への技能尊重気運や日本の産業を支える「ものづくり」に若い世代に職業として関心を持ってもらうため、ものづくり系の企業で職場体験した市内の中学2年生に体験の感想や指導いただいた企業の代表者から中学生へのメッセージを取材し、編集した冊子の作成(令和5年度から冊子は紙媒体から電子媒体に移行)

(ア) 特集取材人数 2名

(イ) 職場体験企業 8名

(ウ) 職場体験取材実施校 3校

(エ) 出前講座取材実施校 1校

イ 企業見学会

市内の企業に協力をいただき、市内の高校生、専門学校生及び大学生を対象にした企業見学会を実施

令和5年度の開催状況

(ア) 日時

a 令和5年6月30日(金) 13:30～15:20

b 令和5年12月20日(水) 13:00～17:15

(イ) 見学企業

a アルピコホテルズ(株)(ホテルブエナビスタ)

b パナソニックオートモーティブシステムズ(株)、(株)信州シキシマ

(ウ) 参加人数

a 26名

b 11名

(エ) 募集方法

市内の高校、専門学校及び大学へ募集、告知

(オ) 主な感想

- ・ とても良い機会なので続けてほしい。
- ・ 普段見られないところを見ることができて良かった。
- ・ 色々な仕事があることを実感した。
- ・ 現場の雰囲気や何人働いているのか知ることができて良かった。
- ・ 自分の将来について再度考えた。

ウ 技能五輪全国大会(全国青年技能者技能競技大会)

(ア) 令和5年度開催内容

a 日程

令和5年11月17日(金)～21日(火)

b 場所

- 愛知県（愛知県国際展示場他、全13会場）
- c 競技職種数
全41職種
- d 松本市出場選手
3名（職種：建築大工、日本料理、レストランサービス）
- e 松本市成績
入賞者なし
- (イ) 技能五輪全国大会応援企画展の開催
 - a 日程
令和5年11月13日（月）～20日（月）
 - b 場所
松本市勤労者福祉センター 2-6会議室
 - c 協力企業・学校等
10事業所及び4校
 - d 来場者数
延べ106名
- エ 連絡会構成団体（学校等）が実施する技能奉仕活動への支援
令和5年度の実施状況
長野県松本技術専門学校（建築科）が実施
- (ア) 実施日
令和5年9月15日（金）
- (イ) 内容
重要文化財馬場家住宅 西側門庭ベンチの補修
- オ 関係団体への支援・共催など

(6) 労働関係懇談会

市長と労働団体との懇談会

この懇談会は、松本地区労働者福祉協議会に加入する労働5団体からの要請に基づき年1回行っているもので、松本市の重要施策について労働団体に説明し意見や感想を伺うとともに、労働団体からの市政に対する要望や提言などについて意見交換を行い、相互の理解と協調を図ろうとするものです。

令和5年度の開催状況

- ア 開催日
令和5年11月28日（火）
- イ 懇談項目
 - ・放課後児童クラブおよび学童保育の指導員の確保について
 - ・発達障害を抱える児童の放課後の受け入れ環境整備について
 - ・休日保育の拡充について・介護施設への支援について
 - ・地域における介護需要の新たな受け皿の整備について
 - ・松本市仕事と家庭の両立支援事業について
 - ・アスベスト対策について